

(11)Publication number : 2002-032663
(43)Date of publication of application : 31.01.2002

(72)Inventor : **NAKASHIOYA HIROSHI**

```

graph TD
    PC[コンピュータ]
    subgraph 店端 [店端]
        S1[店舗販売タイプ別  
情報提供システム]
    end
    subgraph 加盟店端 [加盟店端]
        S2[店舗販売タイプ別  
情報提供システム]
    end
    subgraph 端末 [端末]
        S3[購入履歴提供システム]
        S4[販売タイプ情報  
検索システム]
        S5[販売タイプ情報  
提供システム]
        S6[販売タイプ別  
情報提供システム]
    end

    PC --- 10 --- S1
    PC --- 20 --- S2
    PC --- 30 --- S3
    S3 --- 40 --- S4
    S4 --- 50 --- S5
    S5 --- 60 --- PC
    S6 --- 70 --- PC
  
```

03/05/20

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-32663
(P2002-32663A)

(43) 公開日 平成14年1月31日 (2002.1.31)

(51) IntCl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)	
G 0 6 F 17/60	3 3 0	G 0 6 F 17/60	3 3 0	5 B 0 4 9
	3 2 6		3 2 6	5 B 0 7 5
17/30	3 4 0	17/30	3 4 0 A	

審査請求 有 請求項の数 8 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2000-215952 (P2000-215952)

(22) 出願日 平成12年7月17日 (2000.7.17)

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 中塩屋 浩士

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74) 代理人 100096024

弁理士 柏原 三枝子

Fターム (参考) 5B049 BB49 EE05 FF01 GG02

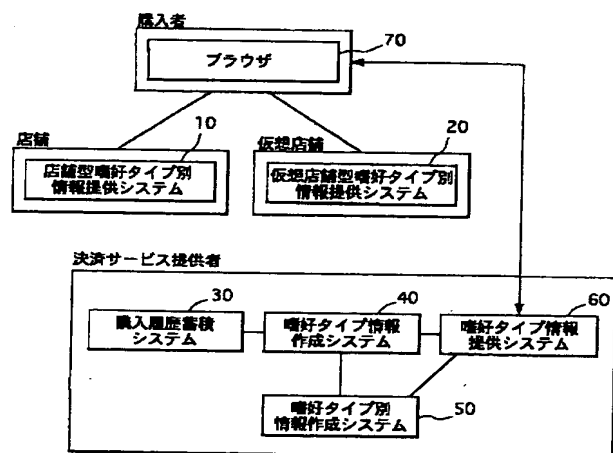
5B075 KK07 ND20 PR08

(54) 【発明の名称】 情報提供システム

(57) 【要約】

【課題】 決済サービス提供者に集まる購入履歴を利用して、購入者の趣味や好みに合ったパーソナライズしたサービスを提供し得る情報提供システムを提供する。

【解決手段】 決済サービス提供者を利用して決済された商品等の購入履歴を蓄積し、蓄積された購入履歴から購入者個人別の嗜好タイプ情報を作成すると共に嗜好タイプ別に店舗及び仮想店舗、人気商品等の情報を作成し、これらの嗜好タイプ情報及び嗜好タイプ別情報から購入者の嗜好タイプにあった店舗等の情報を嗜好タイプ情報提供システム60によって提供する。また、店舗及び仮想店舗にあつては、嗜好タイプ情報提供システム60によって提供された嗜好タイプ情報に基づいた情報を提供する。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 商品等の購入者に当該購入者の嗜好タイプ情報を提供する情報提供システムにおいて、購入者が販売店舗において決済サービス提供者を利用した場合に当該購入者の商品等の購入履歴を蓄積する手段と、当該蓄積手段に蓄積された購入履歴に基づいて、購入者の購入した商品等の種類と価格帯情報とを少なくとも含む各購入者ごとの嗜好タイプ情報を作成する第 1 の情報作成手段と、購入者の端末とネットワークを介して接続され、購入者のアクセスにより、前記第 1 の情報作成手段から当該購入者ごとの嗜好タイプ情報を取得して購入者に提供する情報提供手段と、を具えることを特徴とする情報提供システム。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の情報提供システムが更に、前記第 1 の情報作成手段からの嗜好タイプ情報に基づいて商品等を購入した販売店舗情報、当該販売店舗における人気商品情報とを少なくとも含む各購入者ごとの個人情報を作成する第 2 の情報作成手段を具え、前記情報提供手段が、前記第 2 の情報作成手段から当該購入者ごとの個人情報を取得して購入者に提供することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 3】 請求項 1 又は 2 に記載の情報提供システムにおいて、前記情報提供手段による情報の提供は、前記個人情報に基づいて購入者ごとの個人用の画面を作成して購入者の端末に送信することによって行われることを特徴とする情報提供システム。

【請求項 4】 請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の情報提供システムにおいて、前記情報提供手段によって提供される嗜好タイプ情報は、購入者がアクセスした際に、購入者の端末に内蔵のメモリ又はディスク等の記憶手段及び／又は IC カード等の持ち運び可能な記憶媒体に格納されることを特徴とする情報提供システム。

【請求項 5】 請求項 4 に記載の情報提供システムにおいて、前記販売店舗には、購入者が前記情報提供手段によって提供された嗜好タイプ情報に基づいて、当該販売店舗における人気商品情報と在庫情報とを少なくとも含む情報を提供する情報提供手段が設けられていることを特徴とする情報提供システム。

【請求項 6】 請求項 5 に記載の情報提供システムにおいて、前記販売店舗における情報提供手段は、購入者が持参した嗜好タイプ情報が格納された記憶媒体から嗜好タイプ情報を取得することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 7】 請求項 5 又は 6 に記載の情報提供システムにおいて、前記販売店舗における情報提供手段は、購入者が端末から販売店舗を選択した時にネットワークを通じて嗜好タイプ情報を取得し、購入者の端末に当該販売店舗における人気商品情報と在庫情報とを少なくとも含む情報を送信することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 8】 請求項 1 乃至 7 に記載の情報提供システムを実行するためのプログラムを格納したことを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は情報提供システムに関し、特に、クレジットカード会社などの決済サービス提供者が購入者の購入履歴からその購入者の嗜好タイプ情報を作成し、当該情報を購入者に提供する情報提供システムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、商品及びサービス（本明細書においては商品等という。）の提供者は、購入者に対してどれだけパーソナライズした、すなわち各購入者の嗜好に応じた商品等をいかに提供できるかを競争力の一つとしている。例えば、洋服を販売する店舗において購入者の趣味や好みに応じた商品を販売するためには、店員が各購入者と直接話しをして接客することにより店員が購入者の趣味や好みに見合った洋服を提供するのが一般的である。

【0003】また、商品等を販売する店舗においては、購入者の購入した商品に関する情報（例えば商品の種類や価格帯）を独自に収集し、その情報をその後の販売活動に利用するような場合も見られる。例えば、各購入者の趣味や好みに合致した商品が新しく入荷したことをダイレクトメール等で購入者に知らせることにより、販売促進活動を行うような場合である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、例えば販売店舗の店員が購入者に接客することにより商品等を販売するには、購入者が店舗に来店するたびごとに店員が購入者の相手をしなければならず、効率が良いとは言えない。このため、各購入者の趣味や好みに合致した商品等を提供しようとすると、必然的に手間と人手が必要となってくるという問題がある。

【0005】また、規模が小さい販売店舗等にとっては、購入者の数がそう多くはないため、購入者の趣味や好み、以前に購入した商品等の履歴などの情報を収集するのは容易なことではない。このため、規模が小さい店舗等は、各購入者にパーソナライズした商品等を提供することができないという問題があった。また購入者が初めて利用するような店舗等でも購入者の情報がないため、やはりパーソナライズした商品等を提供することができないという問題があった。

【0006】本発明は、以上の問題点を解決するためになされたもので、購入者の利用する決済サービス提供者が各購入者の購入履歴を収集してこの履歴を管理することによって、より購入者個人に合ったパーソナライズした商品等を提供することができる情報提供システムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため本発明の情報提供システムは、商品等の購入者に当該購入者の嗜好タイプ情報を提供する情報提供システムであって、購入者が販売店舗において決済サービス提供者を利用した場合に当該購入者の商品等の購入履歴を蓄積する手段と、当該蓄積手段に蓄積された購入履歴に基づいて、購入者の購入した商品等の種類と価格帯情報とを少なくとも含む各購入者ごとの嗜好タイプ情報を作成する第1の情報作成手段と、購入者の端末とネットワークを介して接続され、購入者のアクセスにより、前記第1の情報作成手段から当該購入者ごとの嗜好タイプ情報を取得して購入者に提供する情報提供手段と、を具えることを特徴とする。

【0008】購入者は販売店舗において商品等を購入する際、決済サービス提供者を利用して決済を行うと、当該購入者の購入履歴は決済サービス提供者の蓄積手段に蓄積される。すると第1の情報作成手段は、その購入履歴から嗜好タイプ情報を作成する。購入者は第1の情報提供手段にアクセスすることにより、自分の嗜好タイプ情報を取得する。このように、決済サービス提供者が各購入者ごとの購入履歴情報を有しているので、各購入者個人が利用したすべての販売店舗についての嗜好タイプ情報を提供することができる。

【0009】尚、ここで、決済サービス提供者とは、銀行やクレジットカード会社等の、購入者の決済を代行して行う者のことをいう。また販売店舗には、実際の販売店舗のみならずインターネット等のネットワーク上に構築されたいわゆる仮想店舗も含み、仮想店舗はネットワーク上でデータの送受信をすることにより商品等を購入することができる店舗をいう。

【0010】また本発明の情報提供システムは、前記第1の情報作成手段からの嗜好タイプ情報に基づいて商品等を購入した販売店舗情報、当該販売店舗における人気商品情報とを少なくとも含む各購入者ごとの個人情報を作成する第2の情報作成手段を具え、前記情報提供手段が、前記第2の情報作成手段から当該購入者ごとの個人情報取得して購入者に提供することを特徴とする。

【0011】このように、第1の情報作成手段によって作成された嗜好タイプ情報に基づいて個人情報が提供されるので、各購入者は自分の趣味や好みに合致した個人情報からその後の商品等の購入計画を立てることができる。このため販売店舗にとっては、本発明の情報提供システムによって自動的に販売促進活動を行うことができる。

【0012】また本発明の情報提供システムは、前記情報提供手段による情報の提供は、前記個人情報に基づいて購入者ごとの個人用の画面を作成して購入者の端末に送信することによって行われることが好ましい。

【0013】また本発明の情報提供システムは、前記情

報提供手段によって提供される嗜好タイプ情報は、購入者がアクセスした際に、購入者の端末に内蔵のメモリ又はディスク等の記憶手段及び／又はICカード等の持ち運び可能な記憶媒体に格納されることを特徴とする。

【0014】また本発明の情報提供システムは、前記販売店舗には、購入者が前記情報提供手段によって提供された嗜好タイプ情報に基づいて、当該販売店舗における人気商品情報と在庫情報とを少なくとも含む情報を提供する情報提供手段が設けられていることを特徴とする。

【0015】このように、販売店舗に、各購入者の嗜好タイプ情報に基づいた情報を提供可能な情報提供手段が設けられているので、購入者は初めて訪れた店舗であっても自分の趣味や好みに合致したパーソナライズしたサービスを受けることができる。従って、販売店舗側から見れば、本発明の情報提供システムを利用するだけで各購入者に応じた理想的な接客を行うことができるので、購入者の囲い込みを行うことも可能である。

【0016】また本発明の情報提供システムは、前記販売店舗における情報提供手段は、購入者が持参した嗜好タイプ情報が格納された記憶媒体から嗜好タイプ情報を取得することを特徴とする。

【0017】また本発明の情報提供システムは、前記販売店舗における情報提供手段は、購入者が端末から販売店舗を選択した時にネットワークを通じて嗜好タイプ情報を取得し、購入者の端末に当該販売店舗における人気商品情報と在庫情報とを少なくとも含む情報を送信することを特徴とする。

【0018】例えば販売店舗が仮想店舗である場合には、購入者からネットワークを介して嗜好タイプ情報を取得することができるので、これに回答して当該仮想店舗における人気商品等の情報を容易に購入者の端末に返信することができる。このため、購入者はネットワークを介して自分の趣味や好みに合致した商品等を購入することができる。

【0019】また本発明の記録媒体は、上記請求項1乃至7のいずれかに記載の情報提供システムを実行するためのプログラムを格納したことを特徴とする。

【0020】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態を添付の図面を参照して説明する。図1は、本発明の情報提供システムに係る実施形態の全体の構成を示す図である。本実施形態における情報提供システムにおいて、決済サービス提供者は、当該決済サービス提供者を利用して決済された店舗及び仮想店舗における商品等の購入履歴を蓄積する購入履歴蓄積システム30と、この購入履歴蓄積システム30に蓄積された購入履歴から購入者個人別の嗜好タイプ情報を作成する嗜好タイプ情報作成システム40と、この嗜好タイプ情報作成システム40からの各購入者ごとの嗜好タイプ情報に基づいて嗜好タイプ別情報を作成する嗜好タイプ別情報作成システム50

5

と、購入者の端末としてのブラウザ70とネットワークを介して接続され、購入者のアクセスにより、情報作成システム40及び50からそれぞれ購入者個人の嗜好タイプ情報と嗜好タイプ別情報とを取得して購入者に提供する嗜好タイプ情報提供システム60と、を有している。

【0021】購入履歴蓄積システム30はサーバ等の情報処理装置によって構成され、店舗及び仮想店舗における購入履歴を蓄積する。ここで購入履歴の蓄積は、例えば決済ごとに履歴が蓄積されている。一方、嗜好タイプ情報作成システム40は、サーバ等の情報処理装置によって構成されている。この情報作成システム40は、製品タイプ情報、価格帯情報を有しており、購入履歴蓄積システム30によって蓄積された購入履歴情報からその購入者の商品等のタイプ・価格帯情報を抽出して嗜好タイプ情報を作成する。尚、決済サービス提供者においては、各購入者に関する情報は、各購入者のクレジットカード番号や銀行の口座番号等により各購入者を識別するようになっている。

【0022】また、嗜好タイプ別情報作成システム50は、嗜好タイプ情報作成システム40からの嗜好タイプ情報に基づいて、店舗及び仮想店舗の情報、人気商品等の情報を作成する。この嗜好タイプ別情報作成システム50はサーバ等の情報処理装置によって構成され、嗜好タイプ情報作成システム40からの嗜好タイプ情報に基づいて、購入者個人別に趣味や好みに合致した販売店舗の情報及び人気商品等の情報を作成する。ここでも各購入者のクレジットカード番号や銀行の口座番号等により各購入者を識別するようになっている。

【0023】嗜好タイプ情報提供システム60は、WWサーバ等の情報処理装置上に構築される。嗜好タイプ情報提供システム60も、購入者が入力したクレジットカード番号等の個人識別番号に基づいて個人を識別する。この情報提供システム60は、情報作成システム40及び50からの各購入者ごとの嗜好タイプ情報と嗜好タイプ別情報を取得し、購入者個人の趣味や好みに合致する情報を提供するように構成されている。嗜好タイプ情報は購入者の端末のメモリ又はディスク、及び端末に接続されたICカード等の媒体に格納される。

【0024】更に、店舗及び仮想店舗には、購入者が嗜好タイプ情報提供システム60によって提供された嗜好タイプ情報を取得して、購入者個人の嗜好タイプに合った店舗及び仮想店舗における嗜好タイプ別情報を提供する店舗型嗜好タイプ別情報提供システム10と、仮想店舗型嗜好タイプ別情報提供システム20と、が設けられている。この情報提供システム10及び20は、決済サービス提供者の情報提供システム60とは独立したシステムであり、各購入者の嗜好タイプ情報に基づいて嗜好タイプ別情報を独自に作成する機能を有している。

【0025】店舗型嗜好タイプ別情報提供システム10

6

は、パーソナルコンピュータ等の情報処理装置によって構成される。ICカード等の媒体に格納された嗜好タイプ情報から、その店舗における人気商品、在庫、場所等の情報を提供する。一方、仮想店舗型嗜好タイプ別情報提供システム20は、端末のメモリ又はディスクに格納された嗜好タイプ情報に基づいて、その仮想店舗における人気商品、在庫等の情報を提供する。尚、上述したすべてのシステムは、すべてプログラム制御で処理が行われる。

【0026】次に、図2及び図3を参照して、本実施形態に係る情報提供システムの処理の流れについて詳細に説明する。本実施形態では、購入者が服飾店において男性用のスーツを購入する場合について説明する。図2に示すように、まず購入者がいずれかの店舗あるいは仮想店舗で男性用スーツ（ブランド物、価格を8万円とする。）を購入する際に決済サービス提供者を利用する。すると、当該決済サービス提供者の購入履歴蓄積システム30に店舗／仮想店舗における購入履歴が蓄積される（ステップA1）。次いで嗜好タイプ情報作成システム40は、蓄積された購入履歴を個人別に分類する（ステップA2）。ここでの個人別の分類は、購入者のクレジットカードの番号等により分類するものとする。

【0027】更に、嗜好タイプ情報作成システム40は、購入履歴蓄積システム30に蓄積された購入履歴から購入商品タイプ情報（男性用スーツ、ブランド物、スーツのサイズなど）を抽出し（ステップA3）、購入価格帯情報（8万円）を抽出する（ステップA4）。次いでこれらの情報を個人別の嗜好タイプ情報として作成する（ステップA5）。具体的には、商品タイプは男性用スーツでブランド物、価格帯は5～10万円などの情報を嗜好タイプ情報として作成する。

【0028】一方、嗜好タイプ別情報作成システム50は、嗜好タイプ情報をもとに、商品タイプ、価格帯別の販売店舗、人気商品等の嗜好タイプ別情報を作成する（ステップA6）。具体的には、ブランド物で価格帯が5～10万円のスーツを販売している販売店舗の場所等の情報、およびその販売店舗における人気商品等の情報を嗜好タイプ別情報として作成する。

【0029】次いで、購入者がブラウザから嗜好タイプ情報提供システム60にログイン要求すると（ステップA7）、このログイン要求を受けた情報提供システム60は、個人の識別番号／パスワードを要求する（ステップA8）。すると、これに応じて購入者は個人識別番号／パスワードを入力する（ステップA9）。嗜好タイプ情報提供システム60は、購入者が入力した個人識別番号／パスワードから本人であるかどうかの認証を行う（ステップA10）。ここで、個人識別番号は例えば、クレジットカード番号や口座番号、あるいは情報提供システムに予め登録した番号等を用いることもできる。またパスワードも、情報提供システムに予め登録しておく

ようにする。

【0030】嗜好タイプ情報提供システム60は、本人であることが認証できると、嗜好タイプ情報作成システム40から購入者の嗜好タイプ情報を取得し、購入者端末のブラウザ70に送信する(ステップA11)。ブラウザ70上の嗜好タイプ情報管理モジュール(図示せず。)は、嗜好情報端末のメモリ又はディスク、及び端末に接続されたICカード等の媒体に嗜好タイプ情報を格納する(ステップA12)。

【0031】次に、図3(a)に示すように、嗜好タイプ情報提供システム60は、嗜好タイプ別情報作成システム50から、購入者の嗜好タイプ情報に基づく嗜好タイプ別情報を取得し、当該情報に基づいて当該購入者ごとにパーソナライズした画面を作成し、ブラウザ70に送信する(ステップA13)。ブラウザ70は嗜好タイプ別情報に基づいてパーソナライズされた画面を表示する(ステップA14)。具体的には、ブランド物で価格帯が5~10万円のスーツを販売している販売店舗の場所等の情報、およびその販売店舗における人気商品等の情報を表示する。購入者の購入したい商品等が仮想店舗で販売されている場合、購入者はブラウザからその仮想店舗を選択しアクセスする(ステップA15)。尚、仮想店舗の場合は、ブラウザ画面上に仮想店舗のURLアドレスがリンクされていることが好ましい。

【0032】アクセスされた仮想店舗の仮想店舗型嗜好タイプ別情報提供システム20は、ブラウザ70に嗜好タイプ情報を要求する(ステップA16)。ブラウザ70上の嗜好タイプ情報管理モジュールは、嗜好タイプ情報を仮想店舗型嗜好タイプ別情報提供システム20に送信する(ステップA17)。すると仮想店舗型嗜好タイプ別情報提供システム20は、嗜好タイプ情報に基づいて独自に嗜好タイプ別情報を作成し、当該購入者にパーソナライズされた画面を作成し、嗜好タイプ別情報に合致したその仮想店舗における人気商品の詳細情報、在庫等の情報を提供する(ステップA18)。

【0033】ブラウザ70は嗜好タイプ別情報に基づいてパーソナライズされた画面を表示し(ステップA19)、購入者はそこから商品又はサービスを購入する(ステップA20)。一方、購入したい商品等が実際の店舗で販売されている場合、購入者は嗜好タイプ情報等の格納されたICカード等の媒体を持って販売店舗に行くことにより、本発明の情報提供システムを利用することができる。

【0034】すなわち、図3(b)に示すように、販売店舗の店舗型嗜好タイプ別情報提供システム10は、ICカード等の媒体に格納された嗜好タイプ情報を要求する(ステップA21)。購入者は嗜好タイプ情報が格納されたICカード等の媒体を店舗型嗜好タイプ別情報提供システム10に挿入し、嗜好タイプ情報を入力する

(ステップA22)。店舗型嗜好タイプ別情報提供システム10は、嗜好タイプ情報に基づいて独自に嗜好タイプ別情報を作成し、当該購入者にパーソナライズされた画面を作成し表示することによって、嗜好タイプ別情報にあったその店舗における人気商品の詳細情報、在庫等の情報を提供する(ステップA23)。購入者はその情報をもとに商品又はサービスを購入する(ステップA24)。

【0035】尚、上述した実施形態においては男性用のスーツを例にとりて説明したが、商品等はこれに限られるものではなく、例えばサービスについても本発明を適用することができるのは明らかである。

【0036】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば次のような効果を奏する。第1の効果は、各店舗及び仮想店舗は、それぞれの店舗における購入履歴情報のみでなく、他の多くの店舗による購入履歴情報から作成され購入者に提供された嗜好タイプ情報を活用することができるので、購入者の趣味や好みに合致したよりパーソナライズしたサービスを提供することができる。また、購入者は、本発明によって提供された嗜好タイプ情報によって、購入履歴のない店舗及び仮想店舗においても、パーソナライズしたサービスを受けることができる。

【0037】第2の効果は、決済サービス提供者は、決済サービスを多く利用してもらうことにより、店舗、仮想店舗、購入者に対して、嗜好タイプ情報の提供という付加価値サービスを提供することができる。この付加価値サービスの提供により、そのサービスの対価を得ることができ、また決済サービス利用者の囲い込みを図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明の実施の形態に係る情報提供システムの構成を示す図である。

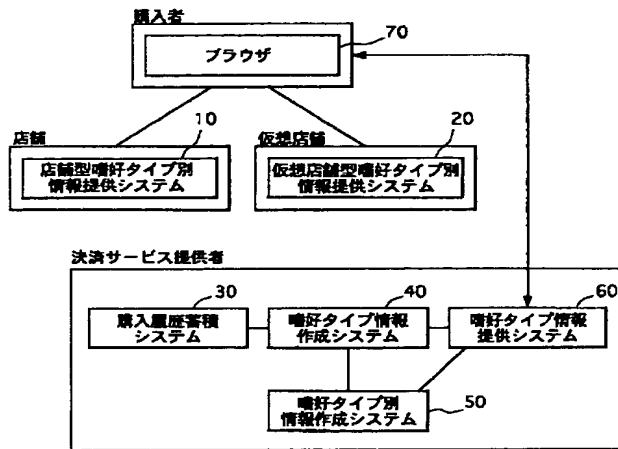
【図2】図2は、図1の情報提供システムの動作処理を示すフローチャートである。

【図3】図3(a)は図1の情報提供システムの仮想店舗型嗜好タイプ別情報提供システムの動作処理を示すフローチャートであり、図3(b)は図1の情報提供システムの店舗型嗜好タイプ別情報提供システムの動作処理を示すフローチャートである。

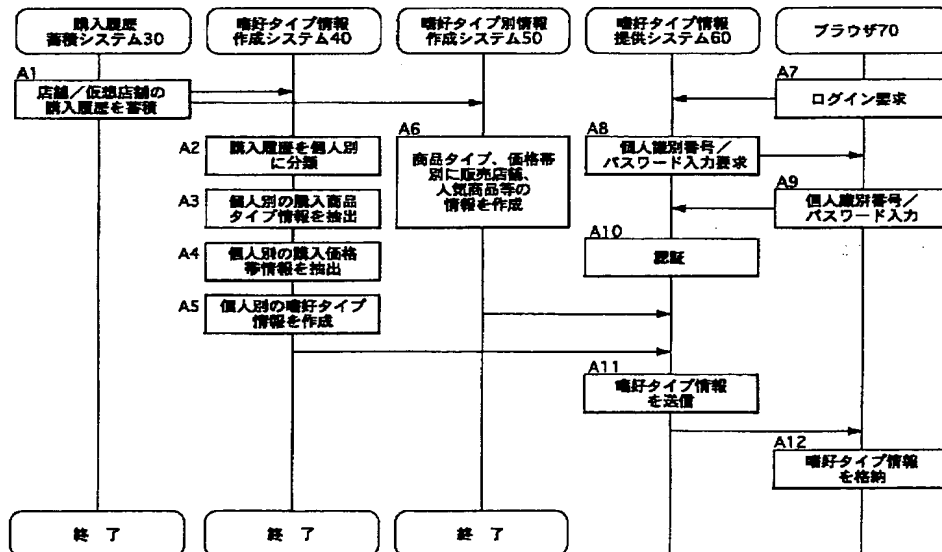
【符号の説明】

- 10 店舗型嗜好タイプ別情報提供システム
- 20 仮想店舗型嗜好タイプ別情報提供システム
- 30 購入履歴蓄積システム
- 40 嗜好タイプ情報作成システム
- 50 嗜好タイプ別情報作成システム
- 60 嗜好タイプ情報提供システム
- 70 ブラウザ

【図1】



【図2】



【図 3】

